

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【公開番号】特開2010-99074(P2010-99074A)

【公開日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2010-018

【出願番号】特願2009-276020(P2009-276020)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/415 (2006.01)

A 0 1 H 5/00 (2006.01)

A 0 1 H 1/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

A 0 1 H 5/12 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/415

A 0 1 H 5/00 A

A 0 1 H 1/00 A

C 1 2 Q 1/68 A

A 0 1 H 5/12

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月28日(2011.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 8 3 に少なくとも 9 1 % の配列同一性を有する、単離核酸分子。

【請求項 2】

配列番号 1 8 3 である、請求項1の単離核酸分子。

【請求項 3】

請求項 1 の核酸分子で形質転換したトランスジェニックタバコ植物。

【請求項 4】

核酸分子が配列番号 1 8 3 である、請求項3のトランスジェニックタバコ植物。

【請求項 5】

トランスジェニックタバコ植物を産生する方法であって：

(i) 請求項 1 の前記核酸分子を、前記植物において機能するプロモーターと、機能可能であるように連結して、植物形質転換ベクターを生成し；

(i i) 複数のタバコ植物細胞を、工程 (i) の前記植物形質転換ベクターで形質転換し；

(i i i) 前記形質転換植物細胞から複数の形質転換タバコ植物を再生し；そして

(i v) 前記核酸を発現している、少なくとも一つの前記形質転換タバコ植物を同定する；

工程を含む、前記方法。

【請求項 6】

前記核酸分子がアンチセンス方向である、請求項5の方法。

【請求項7】

前記核酸分子がセンス方向である、請求項5の方法。

【請求項8】

前記核酸分子が二本鎖RNA分子として発現される、請求項5の方法。

【請求項9】

前記核酸分子が配列番号183である、請求項5の方法。

【請求項10】

植物におけるノルニコチンレベルを減少させる方法であって：

(i) 請求項1の前記核酸分子を、前記植物において機能するプロモーターと、機能可能であるように連結して、植物形質転換ベクターを生成し；

(ii) 複数のタバコ植物細胞を、工程(i)の前記植物形質転換ベクターで形質転換し；

(iii) 前記形質転換植物細胞から複数の形質転換タバコ植物を再生し；そして

(iv) ノルニコチンレベルが減少している、少なくとも一つの形質転換タバコ植物を選択する；

工程を含む、前記方法。

【請求項11】

前記核酸分子がアンチセンス方向である、請求項10の方法。

【請求項12】

前記核酸分子がセンス方向である、請求項10の方法。

【請求項13】

前記核酸分子が二本鎖RNA分子として発現される、請求項10の方法。

【請求項14】

前記核酸分子が配列番号183である、請求項10の方法。